

II 令和元年度障害者スポーツ文化センター横浜ラポール事業報告

1 センター運営

横浜ラポールは、市内唯一の障害児者のスポーツ・文化・レクリエーション振興の中核拠点施設として、障害者の多様化するニーズに即した事業を行いました。

事業の実施にあたっては、多様なプログラムの展開、地域資源との連携を強化した取組、障害者のスポーツ・文化活動に関する積極的な情報の発信に努めました。また、来年度のラポール上大岡の開所に向けた準備をはじめ、横浜ラポール全体で重点を置き、実施した項目は、以下の3項目です。

◇ 昨年度運営法人として指定された、ラポール上大岡について、開設準備室の設置及び開設準備担当職員を配置し、運用検討や必要備品の手配等を円滑に行い、1月10日に無事開設するに至りました。今後、一体運営を意識し、事業等連携して行っていきます。また、横浜ラポールについては機構改革を実施し、業務改善の推進とより利用者ニーズを意識したサービス提供を行えるよう体制整備を行いました。

◇ 自転車の大型化等により手狭感があった駐輪場の拡張を行うとともに、車いすユーザーを意識し、地下駐車場や通路の死角部分にカーブミラーを設置する等、利用環境の改善を行いました。

また、夏場の熱中症対策として、WBGT値によりグラウンドの利用を制限する取組を新たに導入し、利用者の健康管理を促進しました。

その他、各施設への季節感あふれる装飾や花壇の設置等、やすらぎや憩いの空間を提供する取組みを行いました。

◇ 2020東京パラリンピック開催を意識し、引き続きFMヨコハマ「F.L.A.G.」ハマパラコーナーでのパラスポーツの普及啓発を行うとともに、今年度特に依頼が多かったパラスポーツ体験会への対応も積極的に行いました。館内では新たにサイネージを各フロアに複数台設置し、実施事業の情報や関係団体を含めた動画等を配信することで、利用者への情報提供を行いました。

(実績)

開館日数	315日(345日)	施設利用者数	390,896人(435,874人)
------	------------	--------	--------------------

2 スポーツ振興事業

(1) 重点的な取組

◇ 台風19号の影響により中止となった全国障害者スポーツ大会に代わる競技会開催を横浜市に提案し、「神奈川県・県内政令市障害者スポーツ交流会 ～もうひとつの いばらき大会」を開催しました。開催に当たっては、各競技団体、横浜市障

がい者スポーツ指導者協議会（BASEL）ほか多くの方々にご協力いただき、支援者の結束を固める機会ともなりました。参加した選手、ご家族の方からも喜びや感謝の声をいただきました。

- ◇ 生涯スポーツ定着に向けた療育期からの切れ目ない支援体制の強化のため、本事業団内療育部門との定期会議を設置しました。知的・発達障害系では協働のスポーツ教室を実施し、学齢前期に対応する運動メニューの作成を進めるとともに、通園のラポール利用促進に向けた手引書作成に着手しました。また、肢体系では重度・重症心身障害児の運動習慣化をねらいとした、音楽を使った運動や家族参加型プログラムを実施しました。
- ◇ 関係機関連携においては、市民局スポーツ推進課、障害福祉課、体育協会、ラポールによる「障害者スポーツ担当者会議」を定例化させ、パラリンピックレガシーに向けた課題共有とその検討の場を整備しました。また、市体育協会との協働をさらに進め、パラアスリートの発掘、インクルーシブスポーツ推進に向けたチャレンジスポーツ教室を支援したほか、人材養成講座の新たな項目として「障害者・高齢者の健康づくり講座」を開設し、共同で実施しました。

(2) 実績

ア リハビリテーション・スポーツ

<リハビリテーション・スポーツ>

プログラム	内容	回数	参加者
各種相談	スポーツ相談や健康相談等	252 回	252 人
リハ・スポーツ教室(学齢)	学齢発達障害児を対象とする教室	18 回	118 人
学齢障害児支援(肢体不自由)	学齢児肢体不自由児ボッチャ体験	2 回	33 人
音楽に合わせて体を動かそう!	発達障害児を対象に、音楽に合わせて楽しく体を動かすプログラム	3 回	39 人
チャレンジ!楽しく体を動かそう	ピースと協働した発達障害児の運動プログラム	1 回	34 人
ウェルネスプログラム	肢体不自由の小学生から高校生を対象とした健康づくりプログラム	8 回	89 人
リハ・スポーツ教室(高次脳)	高次脳機能障害者が定期的にスポーツを行うプログラム	41 回	1,873 人
～楽しく体を動かそう～ 高校卒業後成人期グループ活動	リハセンターと連携した成人期の肢体不自由者に対するグループ指導	20 回	213 人
初心者スポーツ体験教室(成人)	さまざまな障害の方を対象に数種目を体験する初心者向けの教室	30 回	195 人
健康栄養教室(ヘルシーごはんプログラム)	栄養指導を中心とした健康教室	10 回	42 人
個別指導	障害に応じたマンツーマン指導	414 回	414 人
Inbody 計測	Inbody を用いた体組成の測定	146 回	146 人
ノルディックウォーキングの時間	ノルディックウォーキングを通じた健康体力づくり	26 回	289 人
体力診断(体力測定)	リハ・スポ教室(成人)の参加者を	2 回	36 人

	主な対象とする体力測定		
旅リハ沖縄（含む事前教室）	事前教室を含む旅リハの取組	2 回	68 人
合計（昨年度）		3,841 人(4,016)	

イ スポーツ・レクリエーション
 <スポーツ・レクリエーション教室>

プログラム	内容	回数	参加者
卓球教室	卓球の初心者・初級者の教室	21 回	702 人
卓球教室(上級者)	卓球の上級者を対象とする教室	21 回	541 人
水泳教室	水泳の初級者レベル対象の教室	24 回	324 人
水泳教室(上級)	水泳の上級者を対象とする教室	24 回	272 人
水泳教室(選手クラス)	水泳の競技選手を対象とする教室	22 回	444 人
ボウリング教室	ボウリングの上級者対象の教室	11 回	184 人
ジュニアダンス教室	発達障害の学齢女子を対象とするダンス教室	26 回	332 人
横浜F・マリノス futuro	マリノスと協働で開催している知的障害者のサッカー教室	87 回	2,224 人
アウトドアスポーツ はじめてのセーリング教室	ヨットの体験乗艇を行う教室	2 回	30 人
アウトドアスポーツ 肢体不自由児親子キャンプ体験教室	横浜市スポーツ協会と連携したキャンプ体験	2 回	24 人
合計（昨年度）		5,077 人(5,247)	

<スポーツ・レクリエーションの時間>

プログラム	内容	回数	参加者
フライングディスクの時間	フライングディスクを楽しむ時間	13 回	486 人
オリジナルスポーツの時間	ラポールで独自に開発したビンゴボールやターゲットボッチャ等のスポーツを楽しむ時間	43 回	878 人
ボッチャの時間	ボッチャを楽しむ時間	12 回	97 人
合計（昨年度）		1,461 人(2,043)	

ウ スポーツ大会・交流イベント
 <第24回ハマピック>

プログラム	内容	回数	参加者
アーチェリー	身体障害・内部障害を対象としたアーチェリー競技	1 回	7 人

ボウリング	知的障害・精神障害を対象としたボウリング競技(町田ボウリングセンター)	1 回	63 人
卓球(STT 含む)	身体障害、知的障害、精神障害、内部障害を対象とした卓球競技	1 回	89 人
水泳	身体障害、知的障害、精神障害、内部障害を対象とした水泳競技	1 回	129 人
フライングディスク	身体障害、知的障害、精神障害、内部障害を対象としたフライングディスク競技 (新横浜公園投てき練習場)	1 回	56 人
陸上	身体障害、知的障害、精神障害、内部障害を対象とした陸上競技 (三ツ沢公園陸上競技場)	1 回	212 人
バスケットボール	知的障害を対象としたバスケットボール競技	1 回	72 人
ソフトボール (大会中止)	知的障害を対象としたソフトボール競技(保土ヶ谷公園野球場) *大会不成立	0 回	0 人
バレーボール	知的障害を対象としたバレーボール競技	1 回	60 人
サッカー (大会中止)	知的障害を対象としたサッカー競技 (しんよこフットボールパーク)	0 回	0 人
合計 (昨年度)		688 人(1,040)	

<スポーツ・フェスタ>

プログラム	内容	回数	参加者
水泳の日	どなたでも参加が可能な水泳の記録会	1 回	194 人
バスケットボールの日	どなたでも参加が可能なバスケットボールの競技会	1 回	118 人
ボウリングの日	障害のある方と介護者、家族を対象とした記録会	1 回	24 人
卓球の日	どなたでも参加が可能な卓球の競技会	1 回	108 人
フライングディスクの日	どなたでも参加が可能なフライングディスクの競技会	1 回	44 人
ボッチャの日	どなたでも参加が可能なボッチャの競技会	1 回	140 人
新横浜トリコ	新横浜町内会や横浜 F・マリノスと共に開催したイベント	1 回	80 人
合計 (昨年度)		708 人(1,077)	

<各種リーグ戦や記録会>

プログラム	内容	回数	参加者
卓球交流会	卓球やサウンドテーブルテニス を広く楽しむための交流会	1 回	43 人
ボッチャ交流戦	ボッチャの競技力向上を目的と した競技会	4 回	94 人
ボウリング記録会及び競技会	ボウリングの競技力向上を目的と した記録会と競技会	3 回	49 人
全国大会強化練習	横浜市代表選手を対象に 競技力の向上を図る練習会	42 回	374 人
神奈川県・県内政令市障害者ス ポーツ交流会	第19回全国障害者スポーツ大会の 中止に伴って開催したイベント	1 回	61 人
合計 (昨年度)		621 人(1,020)	

エ 人材育成

<各種研修>

プログラム	内容	回数	参加者
初級障害者スポーツ指導員養 成講座	原則 18 歳以上、横浜市に在住 の方を対象とした研修会	4 回	136 人
理解者層向けの障がい者スポ ーツ体験会や 研修会など	障害者スポーツに関わる人材の裾 野を拡げるために行う、障害者ス ポーツ体験会や研修会	98 回	10,569 人
ボランティア層向けの障がい 者スポーツ体験会 や研修会など	主にボランティアとして、障害者 スポーツへ関わっている方を対象 とした体験会や研修会	11 回	331 人
指導者層向けの講習会や研修 会など	障害者スポーツに関わる指導者向 けの研修会や各競技の審判員養成 講習会など	10 回	426 人
ラポール館内における施設見 学や 障害者スポーツ体験など	ラポールの館内で実施した、施設 見学や障害者スポーツ体験など	72 回	1,120 人
非常勤職員研修	スポーツ施設非常勤職員向けの プールにおける救助法等	5 回	18 人
合計 (昨年度)		200 回	12,600 人(14,166)

カ 地域支援

<地域支援>

プログラム	内容	回数	参加者
スポーツ教室	原則、地域の障害者を対象とした スポーツ教室	7 回	106 人
フォローアップ	ラポールのこれまでの取組によ り、地域で自主的なスポーツ活動 を開始したサークル等に対する支	16 回	290 人

	援		
研修	地域のボランティア等を対象とした研修	13 回	814 人
その他	地域からの様々な依頼に対する対応	60 回	2,771 人
合計 (昨年度)		96 回	3,981 人(4,276)

3 文化振興事業

(1) 重点的な取組

- ◇ 令和元年度、上大岡に新たな施設が開所するのをきっかけに文化職員が増大しました。そのことを踏まえ新横浜と上大岡での事業の取り組みの情報共有をするとともに、事業における役割を精査しました。たとえば陶芸では、本格的な陶芸制作ができる新横浜と少人数で陶芸をはじめのきっかけづくりを基調とした上大岡でのオープン陶芸制作などの取り組みを検討しました。
- ◇ 令和元年度の「横浜ラポール芸術市場」では、平成 30 年にアメリカで行われた「国際障害者ピアノコンクール」発達障害部門で銅賞を受賞した橋爪遼星さんと車椅子のダンサーを含んだ国内外で活躍している舞踊表現活動グループ「integrated dance company 響」のコラボセッションを実施し、身体障害と発達障害の相乗効果をもたらしました。
- ◇ 関係団体との共同調査で、市内の区民文化センターにおけるバリアフリー調査を実施しました。今後は、各センターとの関係性を深めると共に障害者が利用しやすい文化施設の情報を共有できるように努めます。また、人材育成として、昨今話題に取り上げられている大人の発達障害を伝える講演会を実施しました。

(2) 実績

ア 文化振興事業

<横浜ラポール芸術市場>

プログラム	内容	回数	参加者
ラポール美術展	障害のある方の絵画、写真、書、陶芸等 425 点の作品の展示会、同時に「さをり織り」や書道のワークショップを併催(10月21日～10月27日)	1 回	1,982 人
OTO2019	障害のある方が参加している太鼓や歌等 6 組による発表会(11月10日)	1 回	309 人
オータムフェスタ	障害のある方が参加しているコーラスや器楽合奏等の 6 組のグループによる合同発表会 (11月23日)	1 回	148 人
ドリーマーズステージ	障害のある方が参加しているコーラスや器楽合奏等の 4 組のグループによる合同発表会 (12月1日)	1 回	261 人
ハートフルコンサート	障害者によるピアノ演奏や器楽合奏等の 7 組の合同発表会 (12月7日)	1 回	136 人
クリスマスステージ 2019	ラポールで活動している障害者グループによるダンスの発表会 (12月21日)	1 回	317 人

野点～抹茶のおもてなし	自主サークル「ラポールお茶の会」によるお点前披露（11月24日）	1回	67人
みんなでパソコン	障害者のパソコン利用支援グループ「ドリームナビゲーター横浜」による、パソコンを使った缶バッジづくりやICT相談会※パソコン相談会と併催（11月30日）	1回	68人
合計（昨年度）		3,288人(3,573)	

イ 交流事業

<自主・共催企画事業>

プログラム	内容	回数	参加者
日本財団DIVERSITY IN THE ARTS「Big-i アートプロジェクト巡回展」	国際障害者交流センターで公募した、国内外の障害者アーティストの入選作品展(5月29日～6月4日)	1回	1,519人
心魂プロジェクト公演 ミュージカル「あなたへの贈り物」	劇団四季や宝塚歌劇団出身者を中心としたパフォーマンス団体メンバーによるオリジナルミュージカルを開催(7月13日・14日)	2回	186人
みんなでプラネタリウム	難病や重度障害のある方がプラネタリウムドームという非日常的な場所で星空投影や音楽体験ができるプログラムを開催(6月22日、23日)	2回	302人
チャレンジライブ 2019	障害のあるアーティストまたは、障害理解開発をしている音楽団体を集めた音楽ライブを開催(6月29日)	1回	93人
福祉レクリエーションフォーラム in 横浜ラポール	全国福祉レクリエーション・ネットワーク、日本レクリエーション協会との共催による、障害者や高齢者のレクリエーション活動を支える方を養成するフォーラムを開催(6月8日・9日)	2回	83人
特別映画上映会「蹴る」	重度の障害がありながらも、電動車椅子サッカーに人生を賭ける選手たちを、ワールドカップにチャレンジする6年間追い続けたドキュメンタリー映画を電動車椅子の方対象の特別上映会と一般上映会を開催(7月31日、9月23日)	2回	64人

いいところ応援ライブ in 横浜 Vol.2 (8/3)	障害があってもなくても、好きなこと、得意なことを思いきり表現しあうことを目的にした発表会(8月3日)	1 回	273 人
国際親善交流特別演奏会	日本音楽文化交流協会との共催による、ブルガリアの若手演奏家を迎え、障害者を無料招待したクラシックコンサート(9月27日)	1 回	245 人
ラポール寄席	新横浜ライオンズクラブ共催により、障害者と地元市民の交流とパラスポーツ支援を目的として実施(10月20日)	1 回	183 人
新横浜トリコ (11/30)	新横浜のバリアフリーな街づくりとパラスポーツの啓発を融合したイベントを実行委員会形式で実施(11月30日)	1 回	80 人
心魂プロジェクト公演 「心魂クリスマスフェスティバル 2019」	劇団四季や宝塚歌劇団出身者を中心としたパフォーマンス団体による障害の有無に関わらず楽しめる歌と踊りの公演(12月14日・15日)	2 回	527 人
合計 (昨年度)		3,555 人(6,588)	

<ラポールファクトリー>

プログラム	回数	参加者
リアルビクトリーの世界	1 回	50 人
楽しいマジック&かわいい腹話術		55 人
みんなで聴こう！クリスマスコンサート		62 人
合計 (昨年度)		167 人(416)

ウ 自己啓発事業

<リハカル教室>

プログラム	内容	回数	参加者
失語症の方のための 会話サロン	リハセンターの言語聴覚士と連携し、ST 訓練を経た失語症者に対して、テーマに沿った座談会を支援するプログラム(月 1 回)	11 回	163 人
失語症の女性のための会話サロン	リハセンターの言語聴覚士と連携し、ST 訓練を経た失語症の女性に対して、テーマに沿った座談会を支援するプログラム(月 1 回)	9 回	59 人
合計 (昨年度)		222 人(193)	

<料理教室>

プログラム	内容	回数	参加者
ラポールバリアフリークッキング 「サバ缶でイタリアン」「よこすか海軍風カレー」 「簡単和定食」「ポリ袋で手打ちうどん」 「シーフードグラタン」	外部講師をむかえ、栄養や調理等について学びながら、参加者で協力して手軽で健康的なメニューに取り組む料理教室 (5月・7月・9月・11月・1月に各2日間ずつ開催)	10回	127人
バリアフリークッキング in 南太田 「横須賀名物 よこすか海軍風カレー」	「男女共同参画センター横浜南」との共催で、主に障害のある男性を対象にした出張料理教室 (9月28日)	1回	13人
おやつめし	中学生以下の親子(介助者を含む)を対象とし、栄養バランスや調理の手軽さを考えた料理教室。障害のあるお子さんを育てた経験がある講師。 (6月15日、9月14日、11月30日)	3回	44人
クリスマスクッキング	簡単にできるクリスマスらしい料理を楽しむ会 (12月21日)	1回	14人
合計 (昨年度)		198人(345)	

<アート系プログラム>

プログラム	内容	回数	参加者
アートサロン	主に高校生以上の中途障害者を対象にした平日実施の絵画教室	8回	83人
ものづくり広場	主に高校生以上の知的障害者を対象にした絵画や工作が中心の教室	8回	118人
図工の時間	主に小学生以上の身体障害者を対象にした絵画や造形作品を制作する教室	8回	76人
合計 (昨年度)		277人(283)	

<陶芸教室>

プログラム	内容	回数	参加者
陶芸1日体験教室 (初心者・アイデア・親子・中高生・事業団)	片麻痺、視聴覚障害、障害児等年齢や障害の特性に配慮した陶芸体験会	13回	145人
陶芸サロン	陶芸初心者のためのフォローアップとしてサロン形式で実施	5回	24人

合計 (昨年度)	169 人(212)
----------	------------

<その他教室>

プログラム	内容	回数	参加者
ラポール科学部「春の星座と月を見てみよう！」	実際に天体望遠鏡を使用しての天体観望会。春の星空と月を観望。 (5月11日、5月12日)	2 回	101 人
夏休み！親と子の工作教室	神奈川県建一般労働組合横浜支部の協力により、夏休み恒例の親子で楽しめる木工やタイル細工の教室(8月4日)	1 回	44 人
心魂ワークショップ	さまざまな病気と向き合う子供を中心に、プロのアーティストと同じ舞台を踏むため、ワークショップを実施。ヨッテクやクリスマスフェスティバル2019 他にて披露	6 回	198 人
ラポール科学部「ペットボトルロケットを作って飛ばそう！」	理科の実習の機会が少ない学齢の障害児を対象にペットボトルロケット制作の第一人者である片岡鉄雄氏を招いての体験講座 (9月29日)	1 回	64 人
合計 (昨年度)		407 人(658)	

教室等(料理・リハカル・アート)(昨年度)	1,172 人(1,691)
-----------------------	----------------

<陶芸窯焼成>※新型コロナウイルス感染拡防止により、3月焼成は未実施。(年6回⇒年5回)

プログラム	内容	回数	参加者
陶芸窯焼成個人 (5・7・9・11・1・3月焼成)	個人利用者が対象の素焼きと本焼き(有料)	6 回	243 人
合計 (昨年度)		243 人(242)	

(3) おもちゃ図書館事業

ア おもちゃ・紙芝居・書籍類の貸出

内 訳	貸出数(昨年度)
個人貸出 (障害児・保護者等)	2,523 点(2,809 人(1,326))
団体貸出 (療育機関・訓練会等)	4,036 点(3,165 団体(532))

イ 行事・イベント等の実施

プログラム	内容	回数	参加者
おもちゃ病院	個人や団体・ラポールの壊れたおもちゃ計477点をワイワイおもち	12 回	120 人

	やドクターズのボランティアが修理		
みんなのお楽しみ会	第1土曜日に実施する、お誕生月の児童のお祝いのための手遊びやマジック	10 回	148 人
工作ひろば	第1土曜日に実施する、年齢問わず参加できる簡単な工作の会	5 回	132 人
わくわくボックス	縁日ごっこやクリスマスをテーマに、ボランティアや演奏グループが中心となり開催する遊びの会 (7月6日・12月14日)	2 回	137 人
ボードゲーム展	ルールが簡単な将棋やすごろく、ゲーム等、約100点を展示、来場者が交流できる広場を設定 (6月8日～16日)	1 回	1,006 人
はだしでゲーム	ラポール座で、体を動かさずゲームなど、ゆったりした遊びを体験。 (6月8日・9日)	1 回	149 人
LOVE フォトプロジェクト写真展 「ハンディキャップも愛してる」	障害がある子とそのご家族の写真を展示(7月2日～7日)	1 回	不明 人
LOVE フォトプロジェクト 撮影会	障害がある子とそのご家族の写真を撮影(8月26日)	1 回	12 人
おもちゃ図書館夏休みスペシャル 「読んだり、遊んだり、光ったり」	夏の3日間限定で、パズルや絵本の部屋、光の部屋などを設営	1 回	442 人
おもちゃ図書館夏休みスペシャル 積み木ワークショップ「ダイナミックに遊ぼう！」	たくさん積木を使って、まるで街づくりのようなダイナミックな積み木遊びを体験	6 回	53 人
おもちゃ図書館夏休みスペシャル 「わらべうたの時間」	「人と人のつながりを育む大切な日本文化のひとつ、わらべうたを親子で体験	2 回	20 人
ラポールの祭典「おもちゃの広場」	神奈川県内のおもちゃ図書館ボランティアによる遊びや工作教室(9月1日)	1 回	1,020 人
四季の工作	ハロウィン祭りの中で、屋台のように実施。木の実を材料にした工作。	1 回	26 人
秋のボードゲーム展	6月に好評を得たルールが簡単な将棋やすごろく、ゲーム等を展示、来場者が交流できる広場を設定 (11月9日～17日)	1 回	1,100 人
冬休みの絵本&おもちゃ展	クリスマスや冬休みの家遊びをテーマにしたおもちゃをロビーに展	1 回	1,300 人

	示。(12月17日～25日)		
横濱いろはかるた原画展	開港150周年記念として製作した横濱いろはかるたの原画と読み札の書を展示(11月9日～17日)	1回	不明人
書初め体験	新年の志などを講師の指導で書初め。(1月10日・12日)	2回	57人
かるた遊びの広場	ラポール座で、色々なかるた遊びを楽しむ	2回	43人
合計(昨年度)		5,765人(4,708)	

(4) 情報ネットワーク

ア 情報バリアフリー支援講座の開催

<情報バリアフリー支援講座等>

プログラム	内容	回数	参加者
パソコン・スマホ・タブレット相談会	パソコンボランティアの協力を得て、初心者を対象としたパソコンやスマートフォン、タブレットの購入・使用方法等に関する相談会	3回	42人
パソコン・スマホ・タブレット相談会(上大岡)	パソコンボランティアの協力を得て、初心者を対象としたパソコンやスマートフォン、タブレットの購入・使用方法等に関する相談会	1回	5人
合計(昨年度)		47人(35)	

(5) 研修会・講演会等

<研修会・講演会>

プログラム	内容	回数	参加者
サポーターバンク研修会	失語症の会話支援について言語聴覚士が基本的な知識とコミュニケーションの方法について簡単な実技も交えながらの研修会(5月12日)	1回	31人
ビッグ・アイ 災害時要援護者・支援者のための 防災・減災講座	被災経験のある視聴覚障害者と救援活動を行う支援者から、災害時における避難・支援活動と防災・減災活動に役立つ知識等を学ぶ講座。国際障害者交流センターとの共催事業(9月3日)	1回	31人
野波ツナ氏発達障害講演会	～「旦那(アキラ)さんはアスペルガー」シリーズ 著者 野波ツナさんをお招きして～講演会の実施(6月30日)	1回	86人
合計(昨年度)		148人(76)	

(6) 地域支援（出張サービス）

＜地域支援＞

プログラム	内容	回数	参加者
本事業団利用者作品展 at 横浜市役所	本事業団を利用している方たちの出張作品展を市役所の障害者週間イベントに合わせて実施(12月3日～12月6日)	1 回	不明 人
障害のある方の演奏会	市役所市民広間を使った芸術市場参加者による演奏会(12月4日)	1 回	不明 人
移動おもちゃ図書館 ヨコアリくんまつり 「みんなで遊ぼう 本とであおう」	横浜アリーナで開催された港北区のイベントに布絵本やバリアフリーに関する本を展示すると共にラポールの事業を紹介(11月16日)	1 回	不明 人
移動おもちゃ図書館 「あおばおもちゃの 広場」	「あおばおもちゃのひろば」より依頼を受け、青葉区社会福祉協議会との共催で、地域の障害児と健常児の交流を目的に実施しているおもちゃ広場の活動を支援(通年)	48 回	1,040 人
移動おもちゃ図書館 「にこてらす」	瀬谷区子育て支援拠点「にこてらす」より依頼を受け、同所が取り組む障害児支援「にこポンテ」へのおもちゃの搬入出を介した定期的な支援とラポール事業の紹介(通年)	48 回	391 人
缶バッジ作成会& 防災関係アプリ紹介	ヨッテク会場にて、パソコンを使った缶バッジ作成やタブレットによる防災関係アプリの紹介(7月29日・30日)	2 回	752 人
都筑てつなぎまつり	出張おもちゃ図書館事業「第1回てつなぎまつり」にブース出展協力(8月26日)	1 回	77 人
合計 (昨年度)		2,260 人(2,004)	

4 聴覚障害者情報提供施設事業

(1) 重点的な取組

- ◇ 今年度の手話通訳者・要約筆記者派遣・紹介人数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、昨年度比 96%の 12,616 人でした。幅広いニーズに対応できる通訳者層の拡大策として各種研修を実施し、要約筆記者については、大会や講演会、医療関係等様々な模擬場面を設定し、より実践に近い研修となるよう工夫しました。手話通訳者については、少人数実技研修などの新たなプログラムも含めた研修を実施しました。
- ◇ 相談事業については、通常の相談対応のほか、定期訪問相談に精力的に取り組み、潜在的なニーズの掘り起しに努めた結果、対応実績は、昨年度比 108%の 1,180 件となりました。また、同事業の案内チラシを作成、ケアプラザ等 141 箇所に送付し、同事業の利用拡大に努めました。
- ◇ 普及・啓発事業については、行政や一般団体等からの講師派遣依頼に対応し、聴覚障害に関する理解促進を図りました。今年度は特に、介護保険事業所を対象とした「出前講座」を企画・実施しました。その他、聴覚障害者団体と連携し、災害時の聴覚障害者への配慮についてまとめた「リーフレット」を作成し、普及に努めました。

(2) 実績

ア 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

<手話・要約筆記者別派遣・紹介人数>

通訳者の種類		派遣人数	紹介人数	合計	
手話通訳者	非常勤手話通訳者	27	3,522	256	3,778
	登録手話通訳者	147	6,254	801	7,055
	情報提供施設職員	9	148	2	150
	小計	183	9,924	1,059	10,983
登録要約筆記者		81	1,358	423	1,781
合計		264	11,282	1,482	12,764
(昨年度)		(253)	(11,288)	(1,902)	(13,190)

<手話通訳者内容別派遣・紹介件数・人数>

通訳内容	件数 (件)		人数 (人)	
	派遣	紹介	派遣	紹介
医療・保健に関すること	5,979	0	6,002	0
	5,979		6,002	
司法に関すること	34	15	42	15
	49		57	
教育・保育に関すること	638	19	810	33
	657		843	
労働・雇用に関すること	232	183	287	371
	415		658	

社会生活に関すること	1,706	8	1,929	15
	1,714		1,944	
自己啓発に関すること	128	0	193	0
	128		193	
福祉推進に関すること	476	264	660	476
	740		1,136	
聴覚障害者相談員の通訳	1		1	
	1		1	
他の自治体からの依頼		99		149
	99		149	
合 計 (昨年度)	9,194 (8,904)	588 (813)	(9,546)	(1,451)
	9,782 (9,717)		10,983 (10,997)	

<要約筆記者内容別派遣・紹介件数・人数>

通訳内容	件数 (件)		人数 (人)	
	派遣	紹介	派遣	紹介
医療・保健に関すること	173	0	176	0
	173		176	
司法に関すること	0	0	0	0
	0		0	
教育・保育に関すること	33	1	59	2
	34		61	
労働・雇用に関すること	3	28	10	106
	31		116	
社会生活に関すること	69	0	91	0
	69		91	
自己啓発に関すること	29	1	50	4
	30		54	
福祉推進に関すること	271	86	972	299
	357		1,271	
聴覚障害者相談員の通訳	0		0	
	0		0	
他の自治体からの依頼		5		12
	5		12	
合 計 (昨年度)	578 (844)	121 (128)	1,358 (1,742)	423 (451)
	699 (972)		1,781 (2,193)	

	件数 (件)		人数 (人)	
	派遣	紹介	派遣	紹介
手話通訳者	9,194	588	9,924	1,059

要約筆記者	578	121	1,358	423
合計	9,772	709	11,282	1,482

<他都市との通訳者派遣調整>

	横浜から他の自治体に 通訳の手配依頼をしたもの	他の自治体から横浜に 通訳の手配依頼があったもの
医療・保健に関すること	6	34
司法に関すること	1	0
教育・保育に関すること	1	13
労働・雇用に関すること	3	9
社会生活に関すること	31	30
福祉推進に関すること	0	3
自己啓発に関すること		6
合計件数(昨年度)	42 (76)	95 (154)
自治体等の数(昨年度)	15 (18)	23 (23)

<キャンセル・変更等処理件数>

内容	件数	説明
通訳者が手配できなかった	15	窓口終了後や当日の依頼で派遣不可能、処理の誤り等
依頼者からのキャンセル	650	取消・主催行事中止・自然災害等
派遣対象外	16	派遣場所が市外で、内容が市外派遣対象外等
他都市の派遣窓口を紹介	58	広域の派遣として他都市窓口との連携等
通訳者の変更	2	通訳者の事情(病気等)で変更等
日程変更	21	派遣日の変更
相談員	0	通訳派遣を利用せず、相談員が対応した
合計	762	

<手話通訳者のスキルアップ研修>

研修名	回数	延べ参加人数
初任者研修	6	71
登録2年次研修	5	24
登録3年次研修	3	13
課題別実技研修	12	219
全体研修(講義等)	5	439
非常勤通訳者専門研修	5	245
合計	36	1,011

<要約筆記者のスキルアップ研修>

研修名	回数	延べ参加人数
初任者研修(手書き)	5	33
〃(パソコン)	7	59
登録者研修(手書き)	8	262
登録者研修(パソコン)	8	295

登録者研修（合同）	1	54
合計	29	703

イ 聴覚障害者相談事業

<相談内容>（面接相談）

相談内容	実件数		延べ件数	
医療	102	17.6%	205	17.4%
職業	31	5.3%	86	7.3%
教育	4	0.7%	5	0.4%
住宅	42	7.2%	100	8.5%
生活	230	39.6%	421	35.7%
福祉	141	24.3%	302	25.6%
法律	15	2.6%	38	3.2%
聞こえの相談	16	2.8%	23	1.9%
合計	581	100.0%	1,180	100.0%
昨年度	(565)		(1,097)	

<相談の場所>

面接場所		28年度	29年度	30年度	R1年度
ラポール		618	648	595	753
出張	小計	273	326	502	427
	訪問	169	166	340	270
	同行	48	39	40	50
	同席	47	109	116	90
	ケース会議	9	12	7	17
合計		891	974	1,097	1,180

<面接相談以外の対応>

内容	30年度	R1年度
電話による相談等	807	553
FAXによる相談等	340	345
Eメールによる相談等	212	357
その他(郵便による相談、相談予約のための来所対応等)	103	138
合計	1,462	1,393

<相談者の状況>（障害別の内訳）

種類		実人数		
聴覚障害者(個人)	ろう者	174 人	89.7%	80.6%
	難聴者	20 人	10.3%	9.3%
	小計	194 人	100.0%	
健聴者(個人)		20 人		9.3%
機関・団体		2 人		0.9%
合計		216 人		100.0%

<障害者（個人）の居住地域>

地域名	実人数		地域名	実人数		地域名	実人数	
鶴見	12	6.2%	旭	11	5.7%	戸塚	14	7.2%
神奈川	18	9.3%	磯子	7	3.6%	栄	9	4.6%
西	6	3.1%	金沢	13	6.7%	泉	6	3.1%
中	5	2.6%	港北	14	7.2%	瀬谷	7	3.6%
南	5	2.6%	緑	12	6.2%	市外	9	4.6%
港南	13	6.7%	青葉	5	2.6%	合計	194	100%
保土ヶ谷	21	10.8%	都筑	7	3.6%			

ウ 普及・啓発事業

区分	派遣件数	参加者数	依頼団体概要等
企業等	2 件	130 人	薬局、社内人権研修等
教育関係	4 件	35 人	ろう特別支援学校等
介護関係団体	4 件	51 人	地域ケアプラザ等
聴障団体	12 件	480 人	横聴協、浜難聴、手話サークル等
その他	2 件	73 人	聞こえと補聴器講座
延べ参加者数			769 人

エ 映像制作事業

作品等の種類	制作数
障害者専用放送への提供	2
情報からのお知らせ（HP での配信）	9
通訳者研修用教材	45
字幕付きイベントへの字幕制作	0
その他	9
合計	65

オ 視聴覚機器貸出事業

内訳	在庫数	件数
スクリーン	6	183
磁気ループ	2	26
液晶プロジェクター	7	366
テープレコーダー	3	70
ビデオカメラ	1	34
OHC	5	147
VHS+DVDブルーレイディスクレコーダー	1	56
パソコン文字通訳用機器	6	595

パソコン文字通訳用機器個人用	2	165
合計 (昨年度)		1,642 (1,945)

カ その他事業

(7) 頸肩腕特殊健康診断

<直接検診結果>

種類	回	A	B1	B2	B3	C	計
非常勤手話通訳者	第1回	26	1	0	0	0	27
	第2回	26	1	0	0	0	27
登録手話通訳者・要約筆記者	第1回	76	3	0	0	0	79
	第2回	72	2	0	0	0	74
情報提供施設職員	第1回	12	0	0	0	0	12
	第2回	12	0	0	0	0	12
判定基準 A：異常ありません B1：疲労回復に心がけましょう B2：働き方の見直しと改善を要します B3：治療と業務軽減を要します C：休業治療を要します（日本産業衛生学会頸肩腕障害研究会）							

(イ) タブレット端末を活用した手話通訳

区役所	実人数	区役所	実人数	区役所	実人数		
鶴見	2	西	3	栄	1		
神奈川	3	南	0	旭	9		
港北	1	港南	6	戸塚	1		
緑	2	金沢	2	瀬谷	0		
都筑	5	磯子	3	泉	1		
青葉	4	中	2	保土ヶ谷	7	件数合計	52 件

5 その他

各種研修・訓練等の実施により、施設の円滑な運営や安全管理を進めるとともに職員の業務に対する意識の向上に努めました。なお、利用者へのサービス向上を図るため、毎年実施している利用者満足度調査につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止による3月1日からの施設利用停止の影響により、今年度は中止とさせていただきました。

(1) 利用者満足度調査

施設運営上の課題等を把握し、利用者へのサービス向上を図るため、利用者満足度調査を実施しましたが、統計分析に値する必要回答数が集まらなかったため中止とさせていただきました。

(2) 防災対策

ラポールは障害者を中心とした市民開放施設であり、災害時の被害を最小限とするため、日ごろから職員をはじめ館内の障害者団体職員や委託先業者等も含め、防災に対する共通認識を持ち、災害発生時には情報を迅速に収集するとともに初期消火・利用者の避難誘導等に努める訓練を行いました。

<自衛消防組織の編成及び任務>

自衛 消防隊長 副隊長 防災盤監視 (館長)―(副館長)―(警備)―	○安全防御班：館内設備の確認 (設備)
	○救護班：怪我人の処置 (受付看護師)
	○通報連絡班：消防機関への連絡、館内放送 (管理運営課長)
	○初期消火班：消火器等による初期消火活動 (ラポール担当課長(スポーツ担当))
	○避難誘導班①<地下・1階>：館内利用者の避難誘導 (ラポール担当課長(施設運営担当))
	○避難誘導班②<2階>：館内利用者の避難誘導 (ラポール担当課長(施設運営担当))
	○避難誘導班③<3階>：館内利用者の避難誘導 (聴覚障害支援課長)

<消防訓練の実施状況>

実施日	内 容
6月26日	火災発生を想定したラポール館内での防災訓練
10月30日	火災を想定したりハセンター・横浜市保健医療センター及びラポールによる3施設同時の防災訓練

(3) 運営委員会

ラポールの運営に障害者等利用者の意見を反映するため、関係者で構成する運営委員会を開催しました。

開催状況：年2回（6月25日・12月12日）

(4) 施設利用状況

障害者を優先的に施設の貸出を行い、その状況については次のとおりです。

ア 利用区分による利用状況

	利用者数		昨年度
個人利用数	159,867人	(100.0%)	174,505人
障害者	111,724人	69.9(%)	120,868人
介護人等	32,956人	20.6(%)	36,301人
一般	15,187人	9.5(%)	17,336人
団体利用数	231,029人 (7,334団体)	(100.0%)	261,369人 (7,817団体)
障害者	76,279人	33.0(%)	90,790人
介護人等	34,207人	14.8(%)	41,830人
一般	120,543人	52.2(%)	128,749人
合計	390,896人 (1日平均 1,236人)		435,874人

イ 障害別による利用状況(個人利用の内訳)

内訳	利用者数		昨年度
肢体不自由	54,547人	48.8(%)	59,830人
知的障害	28,488人	25.5(%)	30,272人
精神障害	11,844人	10.6(%)	12,181人
視覚障害	3,892	3.5(%)	4,548人
内部機能障害	4,954	4.4(%)	4,909人
重複障害	4,787	4.3(%)	5,883人
聴覚障害	3,212	2.9(%)	3,245人
合計	111,724人	(100.0%)	120,868人

ウ 施設別区分による利用状況

	利 用 者 数		昨年度
ス ポ ー ツ 施 設	230,157 人	(100.0%)	255,325 人
プール	59,614 人	25.9(%)	56,233 人
メインアリーナ	59,342 人	25.8(%)	68,092 人
フィットネスルーム	53,629 人	23.3(%)	59,952 人
サブアリーナ	23,660 人	10.3(%)	27,328 人
屋外グラウンド	10,843 人	4.7(%)	12,053 人
ボウリングルーム	12,825 人	5.6(%)	14,675 人
地下グラウンド	5,051 人	2.2(%)	10,284 人
テニスコート	5,193 人	2.3(%)	6,708 人
文 化 施 設	152,347 人	(100.0%)	180,552 人
ラポールシアター	44,735 人	29.4(%)	53,134 人
大会議室	25,896 人	17.0(%)	31,927 人
ラポールボックス	24,479 人	16.1(%)	29,662 人
ラポール座	22,281 人	14.6(%)	23,067 人
和室	9,783 人	6.4(%)	12,317 人
創作工房	7,554 人	5.0(%)	9,370 人
小会議室	7,858 人	5.2(%)	8,558 人
おもちゃ図書館	9,731 人	6.4(%)	12,438 人
聴覚障害者情報提供施設 ¹⁾	30 人	(0.0%)	79 人

1) 聴覚障害者用字幕付きビデオ貸出人数